（昭和33年3月18日第三種郵便物認可）

新潟県公民館月報

昭和36年1月1日（毎月1回1日発行）
発行所　新潟県公民館連絡協議会
（新潟市寄居町・越佐自治会館内）
（振替（新潟）4094番）
（電話（新潟）2,7954番）
発行人　安沢純正
（定価　一部六円）

2月号（96号）

36年度国庫補助

一躍一億七百万円に

全公連の波状運動効を奏す

◇昭和三十六年度公民館予算に対する大蔵省◇の決定額は、第一時査定で二千万円の増額を◇認め、さらに復活要求に対して二千万円、合◇計四千余万円の増額を認めた。この内訳は施◇設費補助七千九百四十万二千円、設備費補助◇二千七百三十八万八千円である。このほかに◇昭和三十六年度は公民館主事研修に三十九万◇四千円が認められている。◇

【解説】

文部省強く復活を要求

昭和三十五年度の公民館補助は六千二百万円で歴年の最高額であったが、三十六年度ははるかにこれを上まわり、倍増近い一億七百万となった。年頭以来の文部省、全公連の運動経過のあらましは次のとおりである。

昭和三十六年度予算に対する大蔵省の査定額は一月五日夜各省庁に内示されたが、これによると公民館関係では施設費補助で約二千万円の増加が認められ、設備費補助は前年と同額となった。これで施設補助は本年度予算に比し約五割の増加で、第一次査定で増額を認められたことは重点施策としてとりあげられているのによるものである。しかし公民館未整備市町村解消十カ年計画による当初の要求額約二億からみると三分の一にも達しないので、文部省ではただちに当初要求額を認められるよう強力に復活要求をした。

府県公連代表者が陳情

本県安沢、庵原氏も上京

一方、全公連でも公民館関係予算の増額運動を中心に、緊急連絡を要する事項を協議するため一月八日（月曜）午前十一時から文部省第一会議室で都道府県代表者会議を開き午後二時からは緊急理事会を開催、増額要求の運動方法を協議、九日、十日の両日は数班に分れて関係方面を歴訪陳情した。

復活要求認められず

第二波第三波くりだす

九日、十日の代表全員八カ班による各代議士、関係官庁への陳情運動では、大いに理解を深めることができたが、一月十一日の第二次査定結果の内示では全然これを認められていないので、さらに新らしくかけつけた代表と残留組による猛運動を展開した。この期間を通じての欠席はわずかに青森、栃木、埼玉、千葉、石川、長野、鳥取、広島の八県のみであった。

この運動の結果、一月十八日に至りようやく復活要求約二千万円合計四千余万円の増額が認められたものである。

もとよりこれをもって満足し得るものではないが、少なくとも施設費補助は本年度の二倍余となったわけである。（全公連速報による）

県設備費補助公民館決定

20市町村，総額40万円を交付

本年度の県公民館設備費は，申請市町村20，対象品目映写機17台，録音機6台について，このたびそれぞれ下記のごとく交付補助額が決定した。

補助公民館名	補助対象品目	県費補助決定額
北浦　笹神村	映写機	20,000
豊栄町	〃	20,000
西浦　黒埼村	〃	20,000
〃	録音機	10,000
中之口村	映写機	20,000
〃	録音機	10,000
南蒲栄村人面支館	映写機	20,000
〃　福島	録音機	10,000
下田村長沢公民館	映写機	20,000
三島　越路町	〃	20,000
和島村	録音機	10,000
古志山古志村太田	映写機	20,000
中頸　三和村	〃	20,000
岩船　関川村	〃	20,000
神林村	〃	20,000
佐渡　佐和田町	〃	20,000
羽茂村	〃	20,000
真野町	〃	20,000
三条市　大崎	〃	20,000
新井市　新井	〃	20,000
両津市　中央	〃	20,000
新発田市中央	録音機	10,000
村上市　中央	〃	10,000

第2回職員講習会は弥彦で

3月中旬県教委と共催

本年度第二回職員講習会は，例年のとおり県教委との共催で，三月中旬弥彦みのや旅館で開催される予定である。今回の講習は主として既成職員を対象にして行なわれ，講師，日程等は目下考慮中である。各公民館から多数参加されるよう期待している。

目次

復活した社教関係団体協議会……P2
全公連事務局長渡欧……P2
中央のうごきから……P3
公民館職員の妻……P4
狂った季節……P5
訪問集会を開きましょう……P6
牛の公民館……P7

2　キーツ

一八二一年二月二十三日、この日イタリヤで客死したイギリス・ロマン派の代表的詩人。生前は不遇であったが、歿後その評価は高まった。

「エンディミオン」等

×　×

このごろの官吏は、外交官とか大臣とかいう称号と交換に人間という称号を失っている。われわれは官僚的雰囲気のなかに呼吸しているのです……。

人間が偉大だからというのではなく、そのボタン穴につけている勲章の数によって評判が高まるというありさまです……。

イギリス国民が世界で最もすぐれた作家を生みだした大きな理由の一つは、イギリスの社会が生前に作家を虐待し、死後に作家を育成したからです。これら作家は、一般にふみにじられて人生の脇道に追いやられ、社会の苦難をなめてきたのです。

（書簡集より）

復活した社教関係団体協議会

＝年二回本年度世話役は県婦連＝

去る一月十七日、県立青年の家において「社会教育関係団体協議会」が復活開催された。この会議は県公連、県婦連、県連青、県PTAの四社会教育関係団体が、各団体の事業の連絡調整をはかることにより、より効果的な活動を展開しようとするために計画され、例年四十五年度には第二次産業従事者の中堅技能者が約四六十万人不足するという。これを充足させるため、労働省関係の公共職業訓練所と、十年後の昭和得倍増計画による

出席者

県社教課	増井指導係長
〃	金井視聴覚係長
〃	伊藤施設指導主任
〃	中浜成人教育主任
県婦人連盟	児玉理事長
〃	村山副理事長
〃	阿部団長
県連合青年団	田村庶務幹事
県PTA	安沢会長
県公連	喜原常任理事
〃	〃
〃	樋口理事

（写真は青年の家での協議会）

意義ある会合がもたれていたが、三十四年度より中断されていた。

県公連では、過般以来この会議の復活あっせんを県の増井指導係長に依頼していたものであるが、当日はまず増井氏による経過報告があり、議長に本会々長安沢氏があたりきめ、三時すぎ散会した。

一、現在の四団体を中心にして、この会を今後も継続してゆく。

二、会規は、従前どおりのものを受け継ぎ、事務局は当分越佐自治会館内におく。

三、会議開催は年二回とし臨時に一回開く。開催期は一月、五月上旬、九月ごろ臨時に開く。

四、この会の世話役担当団体は輪番制とし任期は一年とする。本年度は婦人連盟にお願いする。

五、県社会教育課及び各団体との連絡調整は、増井指導係長にお願いする。

六、この会の構成メンバーは、各団体毎に団体長以下五名をもって構成する。

樋上全公連局長等渡欧

☆☆☆十カ国の社会教育を視察☆☆

全公連事務局長樋上亮一氏は文部省推せん昭和三十五年度社会教育指導者海外視察員として二月四日羽田発SASで約二カ月にわたり、ヨーロッパ各国約十カ国の社会教育施設視察のため渡欧した。

これは、諸外国の青少年教育成人教育、視聴覚教育等の社会教育、社会教育施設の実情を視察して研究調査を行なうとともに諸外国との交歓を行なうもので、公民館関係者としては初めてのことであり、今後の公民館活動の振興に寄与するところ極めて大きいものがあると認められる。

支援金二万八千余円集る

本会顧問丸山直一郎氏、安沢会長等が発起人となり、各公民館に対し、これに対する支援餞別金のカンパを行なっていたが本県関係ではこのたび二万八千八百円が集まったので県公連を経出して贈呈された。

なお視察員の一行はつぎのとおりである。

▲ヨーロッパへ

平沢　薫　東京教育大学教授
樋上亮一　全公連事務局長
下垣秀男　日青協常任理事

▲アメリカへ

松原弥助　日本PTA協議会長
川村純二　鹿児島県社会教育課長
横瀬弘男　関東地区視聴覚教材補給部長

青級で技能者養成

文部省強く予算折衝

経済審議会の所得倍増計画によって六十二万人を、残る約百万人の養成は主として文部省関係の青年学級が引き受けることになる模様である。

このため文部省では、来年度から職業青年学級を大幅に増加する計画をたてていたが、大蔵省が来年度予算第一次査定で三十五年度の二百六十学級から千五百学級に増加することを認めたことから、具体的に計画を進めることになった。

しかし、関連する予算が認められていないため本格的なスタートが心配されている。

職業コース青年学級千五百学級によって文部省がめざす養成人員は約十万人もある。しかし、この職業コースには商業、農業などもふくまれており、工業コースは現存青年学級のわずか五分程度、年間約四万五千人が技能者教育を受けているにすぎない。したがって、このままでは十年間に四十五万人の養成が行なわれるだけで不十分

しかも工業コース青年学級の教育内容および施設・設備内容は中堅技能者を養成するにふさわしい整備状態ではないため、青年学級の質の改善も要求されている。

そこで、社会の要請にこたえることのできる青年学級育成のため、来年度から二百三十の実験学級設置もあわせて計画していたが、大蔵省はそのための予算を認めず、実験学級の実現は困難視されている。

文部省としては、このための予算復活を強く要求している。これと並んで昭和四十五年度に予想される後期中等教育を受ける機会を持てない約八十万人の十八歳以下の青少年を完全収容できるだけの青年学級を今後設置育成していこうと計画している。この場合、年間約一千学級の設置を重ねて、十年後に間に合わすとしているが、これの設置のための予算が今後獲得できるかどうか、かなりあやぶまれている。

文部省としては、これの実現をみないかぎり、所得倍増計画に必要な中堅技能者の養成に当たって青年学級がこれにこたえることができないとして、強い態度で大蔵省との折衝にのぞんでいる。

新潟県婦人学級生大会

とき　3月4日～5日
ところ　長岡市厚生会館
婦人会員・婦人学級生多数御参加下さい

主催　新潟県婦人連盟　新潟県婦人会議　新潟県市町村教育委員会　新潟放送局　新潟日報社　NHK

後援　新潟県教育委員会

原稿をお待ちいたしております

字数自由，締切は毎月十五日頃

各地域での活動状況や資料、写真、小論文、あるいは随筆、詩、短歌、俳句など、どしどしお送りください。字数はあえて制限はなく、原稿用紙も事務局に常備してありますからお申し越しください。締切は毎月十五日ごろ、掲載の分には薄謝を差し上げております。

一九六〇年を回顧する

社会教育

社会教育の面でのことしの課題は、昨年社会教育振興のうたい文句で改正された社会教育法が実際の面でどのように具体化していくかということであった。しかし国の予算がこの面では婦人教育に集中したことから、全体的な高まりはみられなかった。むしろ、農村の青年学級が減少の傾向をみせたために、青年学級育成対策の転換をせまられており、またいぜんとして青少年の不良化は増加の一途をたどり、凶悪な犯罪が生じるなどして〝青少年に刃物を持たせない運動〟が全国的にひろげられた。

まず婦人教育では国の予算が昨年の十四倍にふえたため、これまでにない活況を示し、文部省は全国の婦人学級の中から千四十七学級をえらんで補助を与えたり、婦人教育指導者を海外派遣するなどバラエティーに富んだ施策を行なった。なかでも、これまで横のつながりをもたなかった婦人教育団体の幹部・指導者を一堂に集めて行なった第一回全国婦人教育団体幹部研修会（十二月・東京）は、文部省主催とはいえ、かって社会教育法改正に反対をとなえた団体も参加して大きな成果をあげた。そして婦人教育の活発化にともなって、来年から文部省に婦人教育課を新設する計画をたてたことは特筆されてよい。婦人教育と並んで、近年とくに重要性がとなえられている勤労青少年教育については、農村の青年学級が減少しはじめ、三十年当時にくらべてその数も三分の二になっているということで、従来の育成方法に再検討が加えられることになり、農村青年学級の減少を農村人口の都市への流出ということにおもな原因を見い出した文部省は、今後都市の青年学級振興策は、主として農村の中学だけで学校教育を終えた青年を対象にした、いわば農村青年学級の育成をすすめてきた。

ところが、三十一年度をピークにして最近では青年学級の設置数も一万四千学級（三十一年度）から一万五百学級（三十五年度）と減少の方向をたどっている。

その理由として同省は❶町村合併による学級統合❷予算難❸農村青少年の都市への流出などをあげており、とくにここ二年ばかりの社会の好況が反映して、農村青少年の離村が青年学級の減少となっているとみている。

そのため、勤労青少年教育を今後振興するためには、都市青年学級の育成が必要という結論を出したものである。これとともに、同省は今後の農村青年学級は、農村定着者を主対象として育成する。また、これまで十五歳から二十五歳までの勤労青少年を同一クラスで学習させてきたが、今後これを十八才未満と十八歳以上とに分けて学習させるように指導する。これによって、将来義務教育の延長が行なわれるさいには十八歳未満のクラスをそのまま義務学級とし、十八歳以上のクラスは青年学級として残すことができるという構想である。

日高文部省社会教育課課長補佐の話

義務教育の延長が行なわれる時のためという わけではないが、青年学級育成も社会情勢の移りかわりとともに改善が必要という見地から今後このような方針で進めていきたい。「日本教育新聞」より

婦人教育課の新設へ

青少年の凶悪犯で　全国に刃物を持たせない運動

部省の社会教育行政が指導者対象にした間接的なものであったことから、社会の底辺にまでおりてきたということで注目されてよいことだ。

一方、文部省の意のかからないところで、国内外の動きの目ざましさを反映して、婦人や青年らの自主的な学習活動、団体活動が活発であったことも新しい動きとしてあげられる。

また、いぜんとして青少年犯罪の増加はつづいており、ますます犯罪年令が降下しつつあることとしも大きな問題となった。とくに浅沼社会党委員長の刺殺事件を契機に、社会の目が青少年犯罪にむけられ、その防止のために世論がわきたった。いま全国的にくりひろげられている〝青少年に刃物を持たせない運動〟はそのあらわれである。

このような中で、青少年の不良防止と健全スポーツの振興をめざして、一昨年全国市町村に設けられた二万名の社会体育指導委員が東京オリンピックという課題も加えてこのほど全国体育指導委員協議会を発足させたことは、今後の青少年の健全育成にかなう期待をかけてよいだろう。

こうした一方で、社会教育の学習の場となる施設・設備の充実がことしも大きな問題となり公民館・図書館・青年の家などそれぞれ各地に豪華なものが登場しているが、直接一般人の身近にこれらの施設が便利性をもって登場するにはいたらなかった。

中央のうごきから

都市青年学級を育成

義務教育延長にも対処

文部省は勤労青少年教育振興のために来年度から都市青年学級の育成に乗り出す方針で、来年度予算に一億八千万円を要求中であるが、このほど大蔵省との折衝にあたって、この方針の裏に同省が、「青少年教育白書」で示した〝すべての青少年に後期中等教育を〟という構想がふくめてあること、同時に後期中等教育が将来義務制になった場合にも対処できるよう学級の組織再編を指導することなどを明らかにした。文部省のこれまでの青年学級振興策は、主として農村の中学だけで学校教育を終えた青年を対象にした、いわば農村青年学級の育成をすすめてきた。

ところが、三十一年度をピークにして最近では青年学級の設置数も一万四千学級（三十一年度）から一万五百学級（三十五年度）と減少の方向をたどっている。

その理由として同省は❶町村合併による学級統合❷予算難❸農村青少年の都市への流出などをあげており、とくにここ二年ばかりの社会の好況が反映して、農村青少年の離村が青年学級の減少となっているとみている。

そのため、勤労青少年教育を今後振興するためには、都市青年学級の育成が必要という結論を出したものである。これとともに、同省は今後の農村青年学級は、農村定着者を主対象として育成する。また、これまで十五歳から二十五歳までの勤労青少年を同一クラスで学習させてきたが、今後これを十八才未満と十八歳以上とに分けて学習させるように指導する。これによって、将来義務教育の延長が行なわれるさいには十八歳未満のクラスをそのまま義務学級とし、十八歳以上のクラスは青年学級として残すことができるという構想である。

日高文部省社会教育課課長補佐の話

作られたワクから出る

新しい成人に期待

◆成人式を終え新しく有権者となったN市の人たちの政治座談会に出席し、選挙に対する心構えというものを聞いてみた◆古代エジプトの遺跡発掘で解読した象形文字には「今の若い者はわからない」とあったそうだが、わからない者だけとは限らぬ、と思ったことだ◆ここでは男子女子いずれの意見も至極もっとものことで、選ばれて集った青年たちだけのことはあるがその一つ二つを紹介することも何か参考資料となろう◆われわれは今までいつも批判者であった、こんどはこの立場から出て、責任の一端をもつこととなったわけだ、常に政治を忘れぬということにしたい、選挙の腐敗についても悲観しないで希望をもちたい◆悪弊は漸時矯めてゆき、選びっ放しをやめて監視する、選んだ人を自分の足とすることだ、自分の意志できめた一票というものに自分が責任をもつのは当然のことと思う◆広い視野で政治をみ、選挙界をみることにしたい、一概にむずかしい理論をふりまわすよりも生活から割り出せるものを政治でつかみたい◆政治機構、社会機構を別物のように考えたくない、これをわれわれからカケ離れているものとせず自分を貫ける選挙にすることだ◆われわれは作られたワクから出る必要がある、選挙法の改正にしてもその見極めを忘れてならない。法は自分たちで作り自分たちが守らなければならぬものだから、積極的な方法がとられなければならない。◆大言以上のようなものであった。抽象論的だが、方向はわかるというものだ、その言うや佳し、これが口先きだけでないことを願いたい。◆20世紀後半が古代エジプトの青年判断から一歩も進んでいない、ということになっては笑い話になろう。

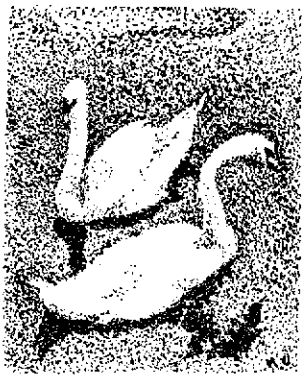
（S）

随想

夫の助言者として

◇公民館職員の妻の日記◇

樋口俊子



夜十一時、スクーターの音がして、主人が帰ってきたようだ。遠い部落の青年学級、午後からのみそれで、またアノラックもビショ濡れだろう。ストーブも燃え、風呂もまた熱いはず。

こうして、毎夜主人の帰りを待つ日が、今年も三月まで続くだろう。

これからの婦人学級のあり方も青年の文集についても、いつのまにか主人の話し相手になるだけの知識が身について、村の女子青年の賑やかな話しの中にも、個人的な問題にも入って行けることは、私にとってもうれしい。

映画を見る機会も、農村にいるだけに恵まれないが、新聞の映画評や、婦人雑誌でよく読んでいるので、話題がここに及ぶと、私と娘の方が主人をリードできるのもうれしいことの一つ。

主人の仕事の関係で、町で開催されたある芸術祭参加作品の映写会に、PRのための有線放送の原稿に、私の助言が役立ったことがあった。主人の言葉を借りれば、アドバイスしてやったことになる。

青年学級生の一人が、交通妨害で問題を起したことで苦慮している主人の話しは、私まで暗くする。

青年団の仕事にも、学級の運営にも、リーダー格だったその青年を私もよく知っている。酒の上での事らしいが村の風習の中に、大人の考えの中に、酒をのんだ上での出来事を罪悪視しないことや酒をのむ時はトコトンまで飲ませ飲もうとする悪い慣習が、今年の事故の陰の原因になっていないだろうか。

何百人いるかしれない町の青年の集団的な指導の外に、青年一人一人の伸びやつまづきまで見守ってやる社会教育は、大変なことだと思うが、教育の尊さがまたそこにあるようにも思える。

次の日曜は、こんどの日曜こそは、と幾月か待ってたが、公民館の行事は土、日曜が多いので、九月の初め家族づれで山登りしてから出かける日もない。その日を待ちあぐんでいる娘が一寸かわいそうになる。里の母が時折り訪ねてきても、ゆっくり話しあえないという。確かに、夜おそくか朝出かける前のひとときだけだ。放送したことや、地方の新聞に出ている公民館の行事のことを母に話しても、何か言い訳めいて仕方がない。女の、妻の愚痴だろうか。

主人の話によく出る村上の小杉さんが、また病気で休んでおいでだときく。その方にはお目にかかったこともない。遠い他人の話しでも、その方が公民館や社会教育の仕事に関係しておられると、病気の話しが他人ごとでなく身に泌みる。「風邪ひく暇もないよ」と笑いとばす主人の言葉より、「そのうちに一ペンに疲れが出て、バッタリ倒れますよ」と心配してくれる村の人の言葉がやはり気にかかる。

どこかのグループでやっている年賀状の書き方の手本を何枚も書いているが、自分自身の年賀状はまだ包装されたまま手がつけてない。お正月に知己の方や、学級生の方々から、またドッサリ年賀状を貰くのだろうに。その時に泡をくうであろう主人の姿が目に見える。

会理的に、計画的にと口ぐせの御本人も、自分のこととなると、やはり思うようには行かぬらしい。

ストーブの横で思いきり体をのばしながら、「○○村の学級生がまた一人お嫁に行くよ」聞いても私はその人を知らない。それより、風呂のさめないうちに早く入浴してくれればよいと思っている。

（西蒲巻町）

×　×

豪雪

深夜わがゆまりに起きて音無き音冱つるを聞けば雪つもるらしくり返し「未曾有の豪雪」とラジオ告ぐ妻と見直すも庭の雪の壁雪の壁は音遮ぎるもとより居のこの頃闘かず正年のサイレン雪の降る夜は白うしてかつ暗し街灯のひかり遠くおよばず鉄筋の学校体育館を押しつぶし雪ふりつもる奇怪しく白く

（東新中学校）

庵原健

屋根の雪下すに流すわが汗は衣服とほして湯気をたぎらす雪に折れる竹をまれに聞くのみの静夜更けゆきて意識冴えくる

（本会常任理事、佐渡公連顧問）

山田弥一さんの死をいたむ

長岡市日越公民館長　片桐幹大

十一月五日、公民館主催でおこなった第二回良寛遺跡めぐりの途中での不慮のできごとでした。

出雲崎の良寛記念館の一室で中食をすんで、いよいよ、国上五合庵へむけて出発する前のことです。講師山田弥一王寺川公民館長から、数奇に富んだ良寛の生涯についてのお話を聞きおわった途端、突然、山田さんはげしい頭痛とはきけを訴えられて、となりの長部多一郎さんの膝をまくらに横になられました。不幸にも脳卒中の発病でした。そのまま次第に意識不明

王寺川公民館長「良寛研究家」

どで大へんおつかれのあとであったとのことで、御遺族の悲歎を思うと、むりにお願いした私たちとしましては、心苦しい気されたこ流の良寛研究家でありまた、「今良寛」として敬慕されていた人格者でもありましたあのりっぱなおひげとともに追事の念新たなものがあります。

良寛記念館の一室で、しかも良寛の生涯を熱い語調でお話しおわった途端の御不幸は、思えば奇しき因縁と申すほかございません。

つつしんで御遺族におわび申し上げ、山田さんの御逝去をいたむものでございます。

（日越公民館だより）より

＝二月行事予定＝

（県社会教育課関係）

婦人学級研究調査会議
新潟市県青年の家　二月二、三日

訪問集会婦人指導者中央研修会
直江津市六～七日

〃　長岡市八～九日

〃新潟市婦人会館三～四日

郡市の婦人団体指導者を対象として、県下36会場で開催する訪問集会婦人世話役会議の婦人指導者を導養成するため、婦人教の現状と問題点、訪問集会の意義と開き方について研修する

社会教育委員会新潟市一〇日

県演劇指導者講習会
柏崎市一一日

〃　西蒲分水町一二日

第二回県青少年活動実績発表大会　長岡市農研会館
一六、一七日

PTA指導者講習会
新津市一八日

新作教育映画研究協議会（予定）（新潟市二〇～二二日）

PTA指導者講習会
直江津市二七日

昭和36年度県青年県外研修生派遣
派遣先・愛知県二〇名静岡県二〇名期間・二月四日～三月一日

◆狂った季節◆

坂爪精一郎

ことしの正月は大雪のためにギゴチない正月になってしまった。今流にいえば「狂った季節」ということになるのだろう。もっとも雪国で雪から降り出すか、遅くとも年を越せば降り出すことに不思議はないのだが、歳晩を前にどっと降り積って止みそうにない、すっかり驚いて家中顔を見合せているだけだった。

吉例の賀状の方も自分らしい理窟で、どうせ儀礼なら正月になって書くべきことと今までもそうしてきたが、筆硯を新たにして元旦に賀詞を書き送ろうなどとの心構えが、この大雪では折角遅配うたがいがあるまい、とにぶってしまい、おくればせの殺風景な印刷の挨拶状になってしまった。もちろん、わるいくせの出嫌いも手伝って、人待ち顔の新年だったが、この大雪をおかしてやってくるお客は文字通りリョウリョウたるもので、まずは「お目出とう」と交歓する前にひどい雪で弱ました」の泣きごとである。20世紀後半はいよいよエネルギー革命だ、などと人も言い自分も聞いていたものだが、これ程の大雪にあって天を仰いで長嘆息では人間あまり威張れたものでないと言って科学の発達機械文明を人間性の冒涜と非難しようとは考えてもみないがいかんせん、どういってみても、機械の方は社会生活をしているわけではないから、大雪とは無縁のようである。

果して汽車も自動車もマヒしてしまった。自分の穴の中にとじこもっているぶんにはよかったが、雪から汽車であわて出した人たちには気の毒で三日も四日も車中立往生ということだった。それでもある駅では乗客が殺気立ち、どうしてくれると駅長室になだれこんで警察が出動する騒ぎもあり人間わざも機械わざもどうすることもできぬ世のなすり合いを自然は冷たく白い眼をしてバカにされた気がしないでもなかった。夜分は寒気も加わってきて、部屋にいすわってテレビのダイアルをひねったりしていると、これがまたおもしろくないことおびただしいもので、いきなり臨時特報などが流れ出し自衛隊の出動とか消防団の出動とかの警報があり、かてて加えて百数十ヵ所も積雪となれば家屋倒壊のおそれあり、と赤信号さえ出される始末である。額を集めて皆で心配ごとをしている間にも雪は一向に降りやまない、さて雪おろしだといっても、この雪を何処へどう処置したものか、背丈だけのびた息子たちでさえ思案投首の態だった。それにふさけたことに、テレビの何とか番組で休だけ発達した女の子が鼻声で「雪が見たいわ雪が見たいわ」などというセリフが飛び出し、何を生意気な、人の気も知らないで、とテレビで仕方のないものの怒鳴ってもみたくなったことである。元日はとくに時間のたつのが早い、雪は依然としてやまないが、二日の夕方、隣家で雪おろしを始め2尺以上も積み上げた雪を拡宅の塀に寄せかけて大変なことになった。話合いとか横のつながりどころでない。自然は自然で抵抗もなく素直なものと受け取っているものには自然とはかくも人間の行動を狂気じみたものにさせるかと一驚してしまったが、これがまた甚だ不愉快なことの一つであった。松の山の今はもいきさ老のお話であったが雪のために人間関係が目茶苦茶になり、雪融けまで気持もほぐれぬとのことを思い出しこんどは自分で身につまされたわけである。

ニコヨンさんの労賃が六百円を呼んだとか、一千円になったとか他人の弱り目につけ込むのはどうかと思うが人手不足とあれば値は高きにつく資本主義がありがたがられたのもこの時であろう。ただ遺憾なことはニコヨンの除雪が時をかせぐだけで一向にはかどらず、シャベルを遊ばせているのには活を入れてもみたくなり腐がゆいことの一つであった。三カ月が過ぎて四日の早朝けたたましく電話がかかり、家の土蔵が雪崩をついて軒の瓦がすべり飛んで山のような雪道をほさんで裏のガラス戸を破ったとの情報が入ってきた、あわてて裏門をあけて女房がカツオ節をもって猫のように詫びにゆく、急遽大工さんからきてもらって新しく戸を造ったり倚子を買ったりでとんでもない損害賠償の仕事始めになってしまったのである。雪はまだまだやみそうにない。魚がない野菜がないと女房族の不満タラタラのようだが戦事中に比べたら何だこれきしのこと、とまたしてもいやな記憶も蘇えるが、有り余って困るのは矢張り雪ということに落ちつき、実に意気地ない人間の姿だった。いづれはこの豪雪も消えてゆくだろうが、例によってのどもと過ぎれば何とやらでこの先同じいことのくり返しを、と考えてみるだけ寒心に堪えないことであった。

（県社教課文化振興主任）

長震地震

公民館被災者に義援金を

―県内公民館関係者に訴える―

二月二日早暁、長岡市を襲った地震は、豪雪にあえぐ市内全域にわたって甚大な被害を与えたが、公民館関係でも日越公民館の半壊をはじめとし、職員自宅の全壊半壊七戸を出すという惨状をまねいた。これに対し、本会では義援金を募り、被災関係者に贈ることになった。

義援金の受け入れは長岡市長岡公民館内、震災義援金係で受け付け、各被災関係者に按分していただくことになっている。受け付け期間は特にもうけないが、広く県内公民館関係の同情心に訴えている。以下長岡公民館水橋主事の被害報告全文を原文のまま紹介した。

（このページの記事は組み換えた）

長岡公民館　水橋忠司

県公連事務局殿

昭和三十六年二月七日

震災お見舞をいただき感激しております。昨日羽茂局から庵原事務局長のお見舞状も頂戴しました。

二日午前三時四十分ごろ強震を受け驚きましたが、まさかおひさもとは考えず、震源地は東京か仙台か大変だろう位に思いながら余震に眠れず、朝のニュースで震源地が長岡で死者一名、家屋、倉庫の倒壊を知り更に驚いたもの、現状はどこも確認できないまま出勤、初めて上川西地区の被害を知りました。特に現在博物館勤務ながら昨年まで上川西公民館主任主事の中村武君宅は全壊、家族全員負傷のニュースに市公連会長の命をうけ現地に飛びました。何分現地の混乱に加えて電話がきかぬ有様に情報がおくれていました。公民館は無被害でしたが、中村君にそれから現主事の石崎享君の住む百生寺部落は五十六戸中八戸全壊、他は殆んど半壊という惨状であって、死者一名を出しただけに住民のショックも大きいものがありました。

豪雪下深夜であり余震止まず言葉に絶する惨状というには余りにも言葉がたりないくらいでした。石崎君の家も外観は差程でないのに中は目茶目茶、庭の雪割れの跡が激震を物語っていました。どこから手をつけてよいかわからないながらも、若干の手伝いを始めるうちに福戸、王寺川、日越などの被害が判明しましたが、何分雪中とて車がきかず全部徒歩なので上川西で打切り、翌三日福戸、王寺川、日越と見舞激励に回り、併せて施設職員の被害の実情を調査しました。

市公連は八日に定例余をもつことになっていましたが一応中止しそれぞれ対策本部と連絡をとりつつ、同志の激励にあたっております。

複雑地震であり、なお余震止まず現地の不安は去っておりませんが、昨年暮から大雪で豪雪となり、上尿は汲みとれぬまま火事がつづき、その上大地震でこのあと水害に病魔が予想され、とんだ年になりそうですが負けないよう頑張って行く心算です。

（原文のまま）

氏名	職名	館名	被害の状況
石崎　享	主事	上川西	半壊負傷なし
板屋　貫一	館長	福戸	全壊　〃
金子　圭一	主事	〃	半壊　〃
中野　佐一	〃	王寺川	〃　〃
吉川　耕作	〃	〃	〃　〃
田口和一郎	用務員	〃	〃　〃
長部　清	〃	日越	〃　〃

社会教育の新らしい場
訪問集会を開きましょう

戦後十五年の年月がすぎた。この間いろいろな講習会、学級講座が開かれ団体活動ものびて新しい社会教育活動はたしかに大きな進歩を示したと言える。

しかし

- いつも同じ人たちだけしか集まらない。
- なかなか発言してくれない。
- まわりの人たちの理解と協力が得られない。など多くの問題をいだいたまま社会教育は大きな壁につきあたっているといわれる。
- 年間を通じて、社会教育活動に参加する人たちは住民の二割ていどしかない。
- 新しい芽生えを、のびなやませている地域や家の古いしきたりをどうしたらよいか。
- よい指導者がいない。
- 自由に使える施設がない。
- 金がない。
- 青年たちの集まりや婦人たちの集まりの中だけで、立派なことを学び、話し合ってもその効果はくらしの中に持ちこみにくい。
- 地域の人たち全部が今のくらしの中の問題に気付き、青年たちや、婦人たちの学習や活動に理解と協力を示してくれるようにするには、どうしたらよいのだろうか。おやじさんたちも「よしやろう」と話し合い、考え合い、計画し合い、実践し合うようにするには、どうしたらよいのだろうか。

訪問集会とは

訪問集会は、十五戸ぐらいでまとまり、みんなで話しあい、考えあい、実行しあって、私たちの身近かな問題や、郷土生活の問題を解決して、毎日のくらしを美しく仲よく、あかるくするための集会です。

- 私たちの生活を、美しく、たのしくしてゆきます。

訪問集会は

- 私たちの生活を、明かるく向上させてゆきます。
- お互いが、よい点を認めあい、人格を尊重しあう人間になります。

訪問集会の作り方

訪問集会を作るのに二つの場合があります

一つはすでに十五人くらいで時々集会している人たちで作る場合です。他の一つは、誰かのよびかけによって、新しく作ろうとする場合です。この二つのちがいは何でもないことのようですが、作られてから後の発展に大きくひびいてきます。いづれにしても、義理やおつき合いでなく「私たちも何かやろう」という気分を十分もり立てることが大切です。

十五人前後が一番よい

訪問集会をたのしく続けてゆくには、集る人は、十五人前後がいいようです。大ぜいになるほどお互いの話しあいなどがしっくりしなくなり、集会の運営がむずかしくなります。

二〇人をこえるような時は、もう一つの訪問集会をつくってゆきましょう。

世話役を中心にして

訪問集会には、世話役が必要です。それは会の中心となってはたらく、御苦労さまな役目です。人がらや熱心さなどで適当な人が選ばれ、講習を受けて立派な訪問集会のすすめ方を身につけていただきましょう。通知と司会、資料の準備、よそとの連絡や記録などの仕事もあるので、二人ぐらいいると好都合です。

会場は畳のあるところで

訪問集会の会場には、個人の家、公民館、学校、お寺などが考えられますが、とにかく畳の上がいいようです。みんながくつろげるからでしょう。会場をいつも同じ場所にするやり方と、毎回またはときどき変えるやり方があります。どちらにするかは話し合いできめて下さい。

また会場での並び方は、車座式にまるくなったり、コの字型になったり親しみやすい形をとりましょう。

運営には工夫をこらして

訪問集会にはたのしいなごやかな雰囲気がほしいものです。息ぬきには、ゲームや踊りも効果的です。桃の節句やお月見など季節の行事をうまく取り入れるのもいい趣向かも知れません。またえらんだ問題に関係のある幻灯やラジオなどは、いっしょに見たり聞いたりしたいものです。

運営に工夫がこらされていれば、きっと集まりの日が待ち遠しくなるにちがいありません。

記録を忘れずに

訪問集会では、会としての記録をつけてゆくことが必要でしょう。

最初は、集まりの日時や人数、話しあったことの簡単な記録からだんだん欲がでていい記録をつけたくなるようです。

あとの思い出に、写真をとったり、録音したりすることもよいことです。

プログラムはこんなふうに

- 時間は二時間程度とし、始めと終りの時間がまもられるように工夫しましょう。
- 話しがでにくいときは、六人づつに分れてやる方法がよいようです。
- らくな気もちで心のつながりを深めることを第一にしましょう。

最初が大切です

むずかしいことをきめて、実行が危ぶまれるようでは、第一回はおそらく失敗します。

誰でもできることで、その結果をもちよって報告しあい、話しあえることからはじめましょう。

例えば。上手なたちの作り方と火の用心について。

- 家族会議を開いてみましょう。
- 道路の清掃をしましょう。
- 若い者の言い分を聞いてみましょう。

プログラムの例

時間	事項
7.00	挨拶（宿の主人）
7.05	司会者、書記をきめる
7.10	工夫の発表と話し合い
8.00	幻灯や録音利用と話し合い
8.20	次の実践事項をきめる
8.50	記録のかくにん閉会のことば
9.00	

発展のために

- 訪問集会にも浮き沈みはついまわります。
- 人数が少ないので、自分たちだけの経験ではゆきづまりがきます。
- 部落内の集会の間や、町村内、他の町村との交流をさかんにしましょう。
- みんなが工夫していることがわかり勇気づけられます。
- 力を合せて大きな問題ととりくむことができます。
- 失敗や成功の原因がわかり、運営がよくなってきます。

一人では持ちあげることのできない重たいものでもみんなの力を合せると持ちあげられます。

「三人よれば文殊の智慧」といいます。

美しく、たのしい生活、仲よく、明るい社会をきづくために、みんなで訪問集会を開きましょう。

司会者の心得

❶なごやかな、だれでも気やすく話せる空気をつくります。

❷話しあいを本すじからはずれないようにします。

❸脱線や長談議をふせきます。

❹口の重い人にも話させるようにします。

❺意見の対立の場合は、建設的はもってゆくようにします。

❻つねに公平で司会者の発言は簡単にします。

（県教委発行「訪問集会のしおり」より）

牛の公民館

庵原　健

「ウシの年といえば、野原にいる牛を、まっすぐに刻明に描いてある。しかしながら、野原に牛が一匹つっ立っているだけのことである。〝なんや、なんの変哲もない牛の絵やないか。大きいだけでは、なんちゅうこともあらへん〟とこの奇妙な絵に押され気味のパトロンが批評した。すると画伯は得たりとばかり、〝まあ、そない言わんと、牛の目をよう見とくなはれ〟と抗議に及んだ。なるほどよく見ると大きな牛の目には、目に映った外界が、物の見事に刻明に描かれている。太立から空、雲のただずまい、近くの農家の庭にはせんたくものまで干してある。しかもそれが目の球面に映った通りに、ひずみをつけて描いてあるので、いかにも映っているように見える。一同感心の仕直しとなった。云々」

すこし長文であったが引用したのは朝日新聞の一月五（六）日ごろの「今日の問題」の一節である。この短文の中には、さらに牛の目に映った風景画が、シャガール、クレーにもあることを書き加えている。牛の目だけは、単に大きいゆえに外景が鮮やかに映るのであろうか？

草をたべて満腹すると、牛は無心のごとき表情をもってつっ立って、しつかに反芻をくり返す状態になる。大自然の複雑な形態、明暗遠近、色彩を、映るがまま忠実に映らせて大きな目を持ときしばたたく。つっ立った姿は大山のごとき安定感がある。歩けば足は極めて正確、土橋があれば歩幅を近づけて嘆ぐようにしながら、その安否を仔細にしらべて、然るのちにわたる。川があれば同様にして深浅をたしかめて踏み入る。一度通った道はよく覚えていて、次回には踏み迷わない。姿は見なくとも何物かが近づけくはいは速早くこれを直感、反芻を中止し耳をすます。図体の大きい、動作の鈍い己を、そして孤独の個性をも身全霊をもって知り尽していることは、動物の中でも類が少ないであろう。ほ身を投げ出すがごとき結果を伴なけている如く見えていて、細心の歩行のようにのろくとも格調高く、牛の眼の球面のように複雑な社会議題を刻明に映す虚心と広い視野をもち、正しく明るい人間関係を育てる鮮明なイメージをもって、私は公民館運動を展開したい「人間の最大関心事は人間である！」この弱点をひっかきまわしあうと社会は暗く、かつ混乱退歩し、この弱点をたがいに助けあい調和すれば明るく住みよくなる。

公民館活動本来の多端な個性、孤独性を生に負けない意気で口覚して、今年こそは、公民館の基盤を確立したいものである。（本会常任理事）

心の琴線

※公民館はあなたのものです。自分のものに遠慮するなんておかしいですよ。（農山漁村文化協会　浪江虔）

※公民館は民主化への運路である。（須藤克三）

※公民館は「言論の自由」に対する確信のもてる場所にしたい。（評論家　戒能通孝）

公民館話題

たのもしい行動力

町内会の分館活動

長岡市日越公民館
堺町分館の巻

数年前、われわれが分館活動を計画したとき、佐藤前分館長の熱意に勇気づけられて、ふみきることのできた因縁ふかい分館である。

堺町分館の特長はその行動力にある。町内一丸となり、地区に率先して公民館活動を推進している。公営結婚しかり、分館建設しかり、保育所設置しかりである。どれほどほかの分館を勇気づけてきたかはかりしれない。

由来、堺町はまとまりがよいだけに、それだけに口やかましい堺根性においても有名である一種の迫力とたのもしさを生む所以でもあろう。

町の中央をつらぬく道は広く分館にはいち早く電話も水道も設けられ、左右用水も延々とのびてきていて、年々町内は面目を一新しつつある。町内会のまとまりある行動力と、山本、渡辺三副会長の果敢な陣頭指揮ぶりがうかがわれてたのもしい。

このような迫力あふれる町内のふんい気にはぐくまれた分館活動の発展を、われわれは強い期待をもって注目してきた。この日の委員会においても、熱心な審議を通じて分館の実情をおきき、されば刺戦、大いにまた勇気づけられた。その時の印象をとりまとめてみて、もっと欲をいえばと考えた点を率直に申し上げてみたい。

堺町では一切の事業はその度に総会で全町民によって検討されるそうである。したがって分館事業は町内の仕事としてとりあつかわれ、とりたてて分館活動などという必要は少ない。町内会の活動がそのまま分館活動ともいえる利点があるわけである。

しかし、その反面、町内総会で検討されることは、緊急必要な事業が主となって、じっくり時間をかけて企画し、目にみえない効果をねらうような不急の事業はとかくとりこぼされて、町内のあり方そのものがキメの荒いものになる傾向が考えられる。また、複雑な人間関係の中で、遠い将来の礎石をつくるような困難な活動は、とかく見おとされがちになることも考えられる。

もし以上のようなことが考えられるならば、分館は町内全体を見わたして、町内会のとりこぼしている問題、将来当然とりあつかべき問題等のために、気長な根気を要する啓蒙的な仕事を分館活動としてとりあげる余地がまだまだあるのではなかろうか。（片桐幹夫（日越館長）

（長岡地震被災者はしんでお見舞申し上げます。編集子）

とっぽしいくん

No. うつぎ・かず

二個のみかん

相川町　T・T・H

ある講習会の帰りのことである。ある町はずれの小店より二人して一個づつのみかんを九円出して買った。バスの発車時刻までずいぶん間にあったので歩きだした。Tさんは食べ方が早い。Hさんは遅い。TさんはHさんののろいのにはあきれたと見え声をかける。「まだ持っとるかさ」「まだあるよ」Tさんは「とうの昔に食べてすんだ」「早えなあ、仕事の手も早えもんだし、なんでも早えち

や、オレ何してものろうてなハ…」と二人して笑う。Hさんはのろいはず、一へぎずつすじを取ってはほおばり皮（袋）を吐き出す

持って帰るわ」T「そんな物そんけ持って帰ったちうそも……」

そう欲せんでも良いさ」

H「欲なわけでもねえんけもさ、使い道があるもんだしそれにまたいつ貰えるか判らんがさ」

何だか情ないような話になってしまった。

Tさんにほきなかったのであろうか、そこはわからないHさんは子供相手ゆえ家に帰れば何とかなるという考えとまたさっきの会話にある欲なのか。ざっとこんな話である。けれども二人の女性の立場から、生き方の相違、考え方の相違、家庭環境の相違と色々な相違が現われてくる。と同時に逆端に捨てられて風雪にさらされている皮、家までつれられて来て何かに利用されたが、皮の運命もこんな風に違ってくる。自分だったらどの道をとったであろうか、やはり、親のいる人いない人、あっさりした人、深く考える人、欲な人、一人々々によって異ってくるであろう。一片にすぎない話である。

川柳

山田凡楽（青海）

新雪の二尺もあれば歩かれず
雪五尺急に隣が遠くなり
雪五尺古老にきけば驚ぎすぎ
車窓下に除雪夫を見て列車遅々
学校の坂小使さんに雪けずる
打返す怒濤の巾雪がなし
雪ももう白魔と呼べば詩情なし

からである。H「Tさん皮はと聞くT「捨てたようして」H「もったいねえなあ、皮にも二円かかっるんだぜ」T「おめーどうするさ」H「もったいねえしうちへ

子供は少いが姑さんがいる。Hさんには子供はTさんの倍いるけども姑さんがいない。皮を持って帰れば買って食べたことが一日でわかる。だからTさんにはそれがで

社教漫言

中毒　その十一

清楚可憐、野の白百合にも比すべき乙女も、さて結婚して十年、十五年とたつうちに、多くは皮下脂肪を貯えて堂々たる体躯となり心臓もそれに比例して強じんになってくる。それに最近は婦人教育の効果が「だまっていてはいけない」でアゴも逆者とくる。こうなると亭主たる者も一目も二目もおかざるを得ない。あるサラリーマンの奥さんは電話で、主人の上役を呼び出して、自分の亭主を出世させるよう申し入れをして内助ぶりを発揮した。ある奥さんは流行の衣装で身をつつんでいるが、亭主はいつもくたびれた服装をしている。ある奥さんはめんどりの如く豊かにはりきっているのに、亭主はしなびて影が薄い身をすりへらして月給動びや、つけとどけに余念がないらしいところで亭主は妻君あってますます栄えるものなのが、妻君のためにマイナスになるとすればたりすると、それらの学級の関係者がすっかり宇頂点になって我が学級こそは天下の模範学級となりと天狗になってしまう場合が多い。ところで、参観などは

これは妻君に中毒したのである。社会教育にも往々にして中毒がある。青年学級や婦人学級などで他の学級から参観者がきたり、その活動状況が新聞にのせられたり、ラジオに放送せられるのが多いのは周知のとおりだから、あまり名誉にも思わないが新聞や放送となると関係者もころりと参るから妙だ、これはマスコミ中毒というべきか。元来マスコミは珍しいことを報道するという特性がある。必ず優秀ならのでなくともいいのであるよそと変っている青年学級や婦人学級であればネタになるのだ。社会教育の関係者たる者マスコミに中毒せず、マスコミを利用して、教育の目さす〝人間づくり〟に照してみて、その効果を判定すべきではないだろうか。

（R生）

胸にバッチを

全国公民館徽章完成

徽章（バッジ）は、このほど完成し、全公連より発売されています。御希望のむきは本会事務局あて（なるべく前金を添えて）お申し込みください。実費送料とも、二百五十円であっせいたします。

昭和三十五年十月号の本紙にも発表いたしました全国公民館徽章（カットは全国公民館徽章図）

バッジの図案は、公民館の「公」および「やかた」を象徴し若杉が大を針して伸びゆくさまにも似ており、円型直径一センチ三ミリ、黒地に金メッキのすばらしいものです。

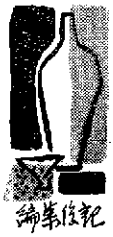
参加をお待ちいたします

第三回新潟県新生活運動推進大会

主催　新潟県新生活運動協会
後援　新潟日報社他各新聞社支局
NHK新潟放送局、ラジオ新潟

一、期日　昭和三十六年三月八日（水）
一、会場　新潟市一番堀　新潟市公会堂
一、プログラム
1開会のあいさつ　新潟県新生活運動協会長　北村　一男
2祝辞　新潟県議会議長　丸田直一郎
3新生活運動優良地区表彰
イ　審査経過報告　新潟県新生活運動協会副会長　安沢　純正
ロ　表彰（被表彰地区）
佐渡相川町二見地区　中魚沼郡津南町大井平地区
東頸城郡大島村板山地区
4講演（演題未定）　文芸評論家　臼井　吉見

編集後記



なにやかにやで、ついに大遅刊してしまいました。長岡地震の報告を載せることのできたのは、ケガの功名というところです。

×　×

本月報も、昭和三十六年大月号で通巻百号を数えることになります。何か特集でもと計画中ですがいいアイデアがあったらが皆さんからもお知らせください。

×　×

巻町の稲口館長さんに原稿をお願いしたら奥さんからの原稿が届けられました。さすがに「公民館人の奥さんだわい」と内容も読まないうちにひとりでにうなずいたことでした。

（清）

附記　㋑ミカンの皮の利用が呼ばれています。㋺ところみにミカン二個と皮の引方を計って見てください。